

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 子ども療育ステーションここふわ 港川

公表日 2026 年 4 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動のスペースと職員の事務作業するスペースを区切っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・触ってほしくない場所には張り紙で掲示している。 ・活動場所、学習場所、食事スペースが区別しやすいように部屋を仕切っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		こまめにみんなで清掃時間を設けられている。	活動場所に物が多いので、子どもたちが広く使えるようにスペースの活用方法を考えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			部屋数が足りないと感じるので、現状できるスペースの確保を考えていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		普段から職員間でのコミュニケーションを多くとるように意識している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		直接配布をしているが、職員間でも振り返りなどを行い業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			現在、第三者による外部評価を行っていません。今後のよりよい環境づくりの為の検討課題としています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			もっと研修を受けたいという声も多いので、多種多様な内容の実施機会を設けていきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公表した内容も職員で共有している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		こまめにMTGを行いながら情報共有をしてよりよい内容で作成できるように意識している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		より具体的な内容が盛り込めるように支援者同士で合わせを行いながら時間をかけて作成を行っている。	

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		プログラム立案時から話し合いを行いプログラム作成に役立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎月新しいプログラムを入れたり活動の中で必要だと感じたことをプログラムに組み込んでいく。	子どもたちの興味や時代、流行に合わせた新しい内容も考案できるように情報収集していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			集団活動が多くなってしまうので、個別活動も提供できるようにしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		気になることはLINEを用いて共有している。	気付いた点をすぐに共有することは出来ているが、勤務時間の都合上、支援の終了後に職員全員で振り返りを行うことができていないので良い方法を考えていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録は様々な形で残せるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			中々行えていないのが現状なので、どういう形で体制を整えていくべきか今後の検討課題としていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		情報の提供や、連絡が取りあえるように日頃からコミュニケーションをとるようにしている。	引き続き、日頃から情報共有をこまめに行いながら互いに連絡が取り合える形をとるなど関係性を構築していきたいと思う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5			設けていないため、地域のセンターとの連携を図る流れを検討していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5			必要に応じてイベント等を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時やLINE、電話などを用いて報告や共有を行っている。	今後も引き続きこまめな情報共有が出来るようにしていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用開始時等に説明をしておりますが、日頃から不明点にお答えできるようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者から相談があったことは必ずみんなで共有しあうようにしています。	直接お会いしてお話するタイミングも作りながら今後ともご家族の支援も行えるように努めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		保護者同士の交流の機会が作れていない現状です。イベントや父母会など、様々な形で企画を検討していきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			HPやSNSはあるがまだまだ周知や更新に関して不足している為、力を入れていきたいと思っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		保管庫等を使用して職員間で気を付けている。	事業所での保管物や取り扱いについて日々強化していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		招待する形はまだないので、環境を整えて計画できるよう検討していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的な避難訓練をおこなっている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		必ずカルテの作成や更新を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			対象の児童がいた場合は、飲食提供時に除去する等を行っているが都度家庭での対応方法や指示書などの共有も行ってもらえるようにしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		他事業所とも連携をとりながら行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			ご家族への周知はまだまだ不足しているので、お知らせの方法を考えて今後の連携について取り決めていきたいと思っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事業部全体のデータ上に残して各々が確認、把握できるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		社内全体でも研修を行ったり外部研修に参加して意識向上を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			身体拘束は行わない形で支援としています。該当するケースが今後あった場合は、しっかりと説明を行っていきます。